



埼玉県舞踊協会ニュース

埼玉県舞踊協会
NO.46

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：中村 友美
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

「バレーボール」

埼玉県舞踊協会 中村友美
協会員の皆様には秋の文化諸行事にご活躍のこととお慶び申し上げます。

協会一大イベントである埼玉全国舞踊コンクール第51回はお手伝い下さった協会員皆様のお力で無事終えることが出来ました。今回は期日も会場も変更となりクラシックバレエ、創作部門(7/31~8/5)埼玉会館大ホール、モダンダンス部門(8/21~26)さいたま芸術劇場大ホールと二期に分けて開催となりました。少子化やコンクール乱立、期日変更等、参加数の減少は有りましたが埼玉全国舞踊コンクールに思いをはせ例年どおり全国からのご参加があり主催する協会側にとりましては何よりの喜びでございました。

協会創始者の先輩諸先生方が洋舞踊発展を願ってクラシックバレエ、モダンダンスが手を繋ぎ開催し発展、継続されて半世紀過ぎた今、後進の私達も力を合わせ更なる発展に努めねばなりません。次年度、第52回は埼玉会館大ホールにてクラシック、モダン二期に分けて開催となります。協会員の皆様、各々ご多忙とは存じますが、どうか協会の誇り歴史ある埼玉全国舞踊コンクールお手伝いへのご協力をよろしくお願い致します。

秋の行事スタートはステージ・ワン公演(9/1~2)、若者パワワーの作品、終えたばかりのコンクール上位作品、45回記念招待作品が加わり盛況に終わりました。10/14にはジュニアバレエフェスタ、11/4には足袋nce能楽堂と続きます。是非ご都合付けてお掛け下さい。

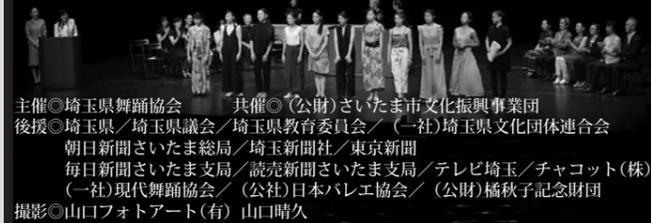
末筆ながら協会員皆様の更なるご発展をお祈り申し上げます。

埼玉県文化振興基金助成事業
beyond2020プログラム
「足袋nce@能楽堂」
~足袋を履いて宙に舞う~
異色の公演シリーズ第4弾!
2018年11月4日(日)午後2:30開演
こしがや能楽堂
チケット:2,500円 全自由席

■アロマストレッチ&足袋nce講座
誰でも簡単!アロマでストレッチをした後に、足袋nceを踊ります。
2018年10月15日(月)10:30~12:00
こしがや能楽堂 松風の間/無料!
講師:原島マヤ、上田仁美、藤井香
■狂言体験ワークショップ
子供からお年寄りまで、狂言のイ・ロ・ハを楽しめます!
2018年10月29日(月)午後7:00~8:50
氷川の杜文化館 練習場
受講料:大人2,200円、小人800円
セット券(大人+小人)2,500円
講師:深田博治(狂言師・万作の会所属)

第51回 埼玉全国舞踊コンクール

《モダンダンス部門》2018年8月21日(木)~8月26日(木)
彩の国さいたま芸術劇場 大ホール



主催◎埼玉県舞踊協会 共催◎(公財)さいたま市文化振興事業団
後援◎埼玉県/埼玉県議会/埼玉県教育委員会/(一社)埼玉県文化団体連合会
朝日新聞さいたま支局/埼玉新聞社/東京新聞
毎日新聞さいたま支局/読売新聞さいたま支局/テレビ埼玉/チャコット(株)
(一社)現代舞踊協会/(公社)日本バレエ協会/(公財)橋秋子記念財団
撮影◎山口フォトアート(有)山口晴久

モダンダンス

■1部成人の部
第1位 埼玉県舞踊協会賞 県知事賞・橋秋子賞・藤井公賞 (一社)現代舞踊協会賞……………酒井 銀文
県議会賞……………近藤みどり
第2位の1 埼玉県舞踊協会賞 県教育長賞……………杉原 萌
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞……………山之口理香子
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞……………後藤 愛香
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞……………富田奈保子
朝日新聞賞……………岡野友美子
埼玉新聞賞……………佐々木泰絵
テレビ埼玉賞……………鈴木 泰羽
東京新聞賞……………有路 蘭
毎日新聞賞……………藤本 中谷 舞
読売新聞賞……………中谷 眞行
チャコット賞……………岸野 奈央

■ジュニアの部
第1位 埼玉県舞踊協会賞 県知事賞・橋秋子賞・津田郁子賞 (一社)現代舞踊協会賞……………高橋くりん
県議会賞……………平塚 達也
第2位の1 埼玉県舞踊協会賞 県教育長賞……………吉岡あおい
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞……………長澤ほのか
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞……………沖田 麻桜
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞……………高橋あかね
朝日新聞賞……………渡邊 瑠璃
埼玉新聞賞……………石橋 慶大
テレビ埼玉賞……………伊東田稀日
東京新聞賞……………三木 麻衣
毎日新聞賞……………横井 源
読売新聞賞……………金津 来海
チャコット賞……………山田 伶奈

■2部児童の部
第1位 埼玉県舞踊協会賞 県知事賞・橋秋子賞……………小峰 珀良
第2位の1 埼玉県舞踊協会賞 県議会賞……………堂田 美瞳
第2位の2 埼玉県舞踊協会賞 県教育長賞……………石田 結実
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞……………中尾 美柚
岡野こころ
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞……………青笹 玲那
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞……………松田 美唯
朝日新聞賞……………生田目 麗
埼玉新聞賞……………西山叶和子
テレビ埼玉賞……………小林 結菜
東京新聞賞……………菅原 礼子
毎日新聞賞……………横山 山由里子
読売新聞賞……………山本 汐和
チャコット賞……………山本 汐和

初めて、このような大きな賞を頂き、嬉しさで涙がこぼれました。いつも親身に指導して下さいました先生方、共に頑張る仲間、応援してくれる家族に感謝し、これからも努力を重ねていきたいです。ありがとうございました。

例として身体の柔軟性を強調するポーズを見せつける技が散見されたのは至極残念なことであった。曲の流れを寸断し、作品のテーマと無関係の曲芸まがいの技を見せられても、それはダンスである以前に舞台芸術とは言えない。むしろ審判員の誰もが、そうしたテクニックの誇りに憤り、嘆いていた。それとは反対に、出場者の技量を見極めるために必要なテクニックを省いていく事例もあった。これは不得手な技を避けて、出場者の良い面だけを見せたいと思っただけか、はたまた作品の世界を見せたいという気持ちから、テクニックは「次として」したかったのか、いずれにせよ、これは前者の事例と同様、高い点数は付けられない。出場者本人というより、指導者起因の問題であり、決して薦められることではない。スタジオの先生方には、短期的な成果より、将来舞踊芸術の担い手となるよう、長い目で子どもを育成して欲しい。

最後に、今回表彰式に出席した入賞者が皆、栄誉の場にふさわしい服装だったことが好印象を残した。改元を迎える来年は、コンクールのさらなる充実を期待したい。

「この年代はまだ子どもだ」「いや、もう大人だ」の双方を行き来する日々を経て大人になっていきます。こ

の最も弾力性に富む、豊かな感性が伝わってくるような作品が少ないことに淋しさをおぼえました。

ジュニアながら、決選に残った人達の舞台が、特に技術力は充分で、プロ予備軍とさえいえる実力も少ないながら、その力を問われるのが指導者の力量です。そのための作品(振付)のほうですが、デザインが命のほうの謎々服が、まるで百貨店で買った既製服を着ているように、同じ動きやポーズの数々が定番のようにほとんどの作品に頻発しています。

執幼に猛暑が続き、毎夏の恒例とはいえ、体調を崩した出場者や指導者もいたのでは気がかりな今回でした。しかし、踊り手の水準は、埼玉コンクールの例年に劣らず非常に高く、酷暑に耐えて日々励んだ若い芽と指導者の汗の結晶が、このほか尊く思えた今回の舞踊でした。

ジュニア部は、中学生と高校生という音の盛りの中でも、子どもから大人へと身体が大きくしかも微妙に変化していく、人生の最初の大きな難関の一つといえる、時期にあたります。

中学生は、子どもからようやく抜け出し始め、高校生は、大人への扉がすでに開かれて、中の廊下がよく見える入り口に立っているような時期といえます。同じ三年間でも両者の成長には、身体的にも精神的にも大きな開きがありますので、私は出場者ごとに、12歳くらいかな?14~15歳くらいかな?と想像しながら審査をしています。体格にも個人差があり、外見での判断は難しいので、まずは作品がその年齢にふさわしい内容を指導者が選んでいる、という前提を参考にします。

豪雨、台風、地震と自然災害が相次いで全国各地に大きな被害をもたらした2018年の夏。平成最後の第51回埼玉全国舞踊コンクールが開催され、

の最も弾力性に富む、豊かな感性が伝わってくるような作品が少ないことに淋しさをおぼえました。

ジュニアながら、決選に残った人達の舞台が、特に技術力は充分で、プロ予備軍とさえいえる実力も少ないながら、その力を問われるのが指導者の力量です。そのための作品(振付)のほうですが、デザインが命のほうの謎々服が、まるで百貨店で買った既製服を着ているように、同じ動きやポーズの数々が定番のようにほとんどの作品に頻発しています。

執幼に猛暑が続き、毎夏の恒例とはいえ、体調を崩した出場者や指導者もいたのでは気がかりな今回でした。しかし、踊り手の水準は、埼玉コンクールの例年に劣らず非常に高く、酷暑に耐えて日々励んだ若い芽と指導者の汗の結晶が、このほか尊く思えた今回の舞踊でした。

ジュニア部は、中学生と高校生という音の盛りの中でも、子どもから大人へと身体が大きくしかも微妙に変化していく、人生の最初の大きな難関の一つといえる、時期にあたります。

中学生は、子どもからようやく抜け出し始め、高校生は、大人への扉がすでに開かれて、中の廊下がよく見える入り口に立っているような時期といえます。同じ三年間でも両者の成長には、身体的にも精神的にも大きな開きがありますので、私は出場者ごとに、12歳くらいかな?14~15歳くらいかな?と想像しながら審査をしています。体格にも個人差があり、外見での判断は難しいので、まずは作品がその年齢にふさわしい内容を指導者が選んでいる、という前提を参考にします。

豪雨、台風、地震と自然災害が相次いで全国各地に大きな被害をもたらした2018年の夏。平成最後の第51回埼玉全国舞踊コンクールが開催され、

の最も弾力性に富む、豊かな感性が伝わってくるような作品が少ないことに淋しさをおぼえました。

ジュニアながら、決選に残った人達の舞台が、特に技術力は充分で、プロ予備軍とさえいえる実力も少ないながら、その力を問われるのが指導者の力量です。そのための作品(振付)のほうですが、デザインが命のほうの謎々服が、まるで百貨店で買った既製服を着ているように、同じ動きやポーズの数々が定番のようにほとんどの作品に頻発しています。

執幼に猛暑が続き、毎夏の恒例とはいえ、体調を崩した出場者や指導者もいたのでは気がかりな今回でした。しかし、踊り手の水準は、埼玉コンクールの例年に劣らず非常に高く、酷暑に耐えて日々励んだ若い芽と指導者の汗の結晶が、このほか尊く思えた今回の舞踊でした。

ジュニア部は、中学生と高校生という音の盛りの中でも、子どもから大人へと身体が大きくしかも微妙に変化していく、人生の最初の大きな難関の一つといえる、時期にあたります。

中学生は、子どもからようやく抜け出し始め、高校生は、大人への扉がすでに開かれて、中の廊下がよく見える入り口に立っているような時期といえます。同じ三年間でも両者の成長には、身体的にも精神的にも大きな開きがありますので、私は出場者ごとに、12歳くらいかな?14~15歳くらいかな?と想像しながら審査をしています。体格にも個人差があり、外見での判断は難しいので、まずは作品がその年齢にふさわしい内容を指導者が選んでいる、という前提を参考にします。

豪雨、台風、地震と自然災害が相次いで全国各地に大きな被害をもたらした2018年の夏。平成最後の第51回埼玉全国舞踊コンクールが開催され、

の最も弾力性に富む、豊かな感性が伝わってくるような作品が少ないことに淋しさをおぼえました。

ジュニアながら、決選に残った人達の舞台が、特に技術力は充分で、プロ予備軍とさえいえる実力も少ないながら、その力を問われるのが指導者の力量です。そのための作品(振付)のほうですが、デザインが命のほうの謎々服が、まるで百貨店で買った既製服を着ているように、同じ動きやポーズの数々が定番のようにほとんどの作品に頻発しています。

執幼に猛暑が続き、毎夏の恒例とはいえ、体調を崩した出場者や指導者もいたのでは気がかりな今回でした。しかし、踊り手の水準は、埼玉コンクールの例年に劣らず非常に高く、酷暑に耐えて日々励んだ若い芽と指導者の汗の結晶が、このほか尊く思えた今回の舞踊でした。

ジュニア部は、中学生と高校生という音の盛りの中でも、子どもから大人へと身体が大きくしかも微妙に変化していく、人生の最初の大きな難関の一つといえる、時期にあたります。

評

モダンダンス1部(成人)
舞踊評論家 うらわかこ

「高」身体操作力にさらけられた表現
20世紀の初め、クラシックバレエの厳しい形式性、規律性から離れて、自由な発想と動きを求めて生まれたモダンダンス。わが国でも時をたまたして、自由な自分たちのダンスを希求するものが現れ、活動の場を広くヨーロッパに求めた。その後多くの先人たちが欧米に向かい、ダンスの指導法、作舞法などを身に付け、それに日本の伝統的、民族的な特性を融合させながら、日本独自のダンススタイルをつくりあげてきました。それがいわゆる現代舞踊です。これは、欧米の身体性、日本の精神性が統合された、独特で多彩な舞踊言語といえるものです。もちろんダンススタイルが評価を決めるものではありませんが、コンクールでは、身体が音楽における楽器であり、それを自在に操る能力

評

モダンダンス2部(児童)
舞踊評論家 池野恵

「この年代はまだ子どもだ」「いや、もう大人だ」の双方を行き来する日々を経て大人になっていきます。この最も弾力性に富む、豊かな感性が伝わってくるような作品が少ないことに淋しさをおぼえました。ジュニアながら、決選に残った人達の舞台が、特に技術力は充分で、プロ予備軍とさえいえる実力も少ないながら、その力を問われるのが指導者の力量です。そのための作品(振付)のほうですが、デザインが命のほうの謎々服が、まるで百貨店で買った既製服を着ているように、同じ動きやポーズの数々が定番のようにほとんどの作品に頻発しています。

評

モダンダンス2部(児童)
舞踊評論家 池野恵

豪雨、台風、地震と自然災害が相次いで全国各地に大きな被害をもたらした2018年の夏。平成最後の第51回埼玉全国舞踊コンクールが開催され、

評

モダンダンス2部(児童)
舞踊評論家 池野恵

豪雨、台風、地震と自然災害が相次いで全国各地に大きな被害をもたらした2018年の夏。平成最後の第51回埼玉全国舞踊コンクールが開催され、

評

モダンダンス2部(児童)
舞踊評論家 池野恵

豪雨、台風、地震と自然災害が相次いで全国各地に大きな被害をもたらした2018年の夏。平成最後の第51回埼玉全国舞踊コンクールが開催され、

エッセイ

原島 マヤ

21世紀の未来を舞台に原子力をエネルギー源として動くロボット鉄腕アトムの物語は、夢の世界が広がって子ども心に素敵な未来を想像したものです。そして今まさに子どもの頃に想像していた以上に文明は進み精神的、物質的な生活は豊かになったはずだが何か物寂しさを感じ日々が過ぎていく人が多い世の中になってしまった気がします。私が人生において一番苦手とする世界、舞踊(笑)は突き詰めても突き詰めても日々反省し、今だから100点をとれる踊りが出来たことも作品を振り付けたことありません。だから大好きで辞めることが出来ない?噛めば噛むほど美味しくなる?愛なのか執着なのか?簡単に手に入らないから頑張ることが出来るのです。ボタン一つで何でもピピッと簡単に出来る今だからこそ舞踊という芸術の大切さを人間の本质を1人でも多くの人に伝えていける舞踊家になりたいと思います。

第51回 埼玉全国舞踊コンクール

《クラシックバレエ・創作部門》

2018年7月31日(木)～8月5日(木) 埼玉会館 大ホール

主催◎埼玉県舞踊協会 共催◎(公財)さいたま市文化振興事業団
 後援◎埼玉県/埼玉県議会/埼玉県教育委員会/ (一社)埼玉県文化団体連合会
 朝日新聞さいたま総局/埼玉新聞社/東京新聞
 毎日新聞さいたま支局/読売新聞さいたま支局/テレビ埼玉/チャコット(株)
 (一社)現代舞踊協会/ (公社)日本バレエ協会/ (公財)橋秋子記念財団
 撮影◎山口フォトアート(有) 松本和幸

クラシックバレエ

■1部成人の部■

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞 県知事賞・橋秋子賞・藤井公賞 中村 眞子
- 《池)日本バレエ協会賞 中村 眞子
- 第2位の1 埼玉県舞踊協会賞 県議会賞 岩崎 聖
- 第2位の2 埼玉県舞踊協会賞 県教育賞 熊谷 美帆
- 第3位の1 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞 三橋紗也子
- 第3位の2 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞 中西 裕奈
- 第3位の3 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞 石原 朱莉
- 朝日新聞社賞 石黒 瑞海
- 埼玉新聞社賞 志村 小川桃乃
- テレビ埼玉賞 宮原 優珠
- 東京新聞賞 奥山あかり
- 毎日新聞社賞 小沼 悠季
- 読売新聞社賞 チャコット賞

クラシックバレエ 1部 (成人)



歴史あるコンクールで受賞させて頂き光栄です、先生方や家族をはじめ、沢山の皆様のおかげで今の私が在ります。支えて下さる方々への感謝を胸に、バレエを通して人と成長を求めて、今後も日々精進していきます。

■ジュニアの部■

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞 県知事賞・橋秋子賞・津田郁子賞 小川しずく
- 《池)日本バレエ協会賞 小川しずく
- 第2位の1 埼玉県舞踊協会賞 県議会賞 千葉ゆきの
- 第2位の2 埼玉県舞踊協会賞 県教育賞 布瀬川桃子
- 第3位の1 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞 土方 昌
- 第3位の2 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞 北島 美侑
- 第3位の3 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞 雨宮 瑠那
- 朝日新聞社賞 井本 昇
- 埼玉新聞社賞 五久保日歩
- テレビ埼玉賞 若下さくら
- 東京新聞賞 高橋 明美
- 毎日新聞社賞 今井 和奈
- 読売新聞社賞 岡村 美依
- チャコット賞 孝多 佑月

クラシックバレエ ジュニアの部



昨年度の悔しさをバネに優勝を目指して練習に励み、有言実行することができて本当に嬉しかったです。でも、理想の自分にはまだまだ程遠いので向上心を忘れず、自分の踊りを追求して魅力的なダンサーになりたいです。

■2部児童の部■

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞 県知事賞・橋秋子賞・津田郁子賞 坂本 夢
- 《池)日本バレエ協会賞 坂本 夢
- 第2位の1 埼玉県舞踊協会賞 県議会賞 亀田 智世
- 第2位の2 埼玉県舞踊協会賞 県教育賞 安達 仁胡
- 第3位の1 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞 渡部日出寿
- 第3位の2 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞 田中 杏咲
- 第3位の3 埼玉県舞踊協会賞 県文化団体連合会賞 布施谷りの
- 朝日新聞社賞 佐藤 瀧
- 埼玉新聞社賞 賀部あゆみ
- テレビ埼玉賞 新山 希琳
- 東京新聞賞 太田 晴
- 毎日新聞社賞 柴田陽乃心
- 読売新聞社賞 龍田ゆにこ
- チャコット賞 渡部 海璃

クラシックバレエ 2部 (児童)



歴史あるコンクールでこの様な賞を頂くことができ、とても嬉しく光栄に思います。熱心に指導下さる先生方、毎日刺激をくれるお友だち、全力でサポートしてくれる家族に感謝の気持ちでいっぱい입니다。

創作舞踊

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞 県知事賞 たけだ有里
- 第2位 埼玉県舞踊協会賞 県教育委員会教育賞 岡 由利亜
- 第3位 埼玉県舞踊協会賞 県芸術文化祭実行委員会賞 愛智 伸江
- 第4位 県芸術文化祭実行委員会奨励賞 森 淑那
- 第5位 県芸術文化祭実行委員会奨励賞 花村 愛子
- 第6位 県芸術文化祭実行委員会奨励賞 戸口 未貴



この度は歴史ある埼玉コンクールにおいて、幼少よりの夢でありました素晴らしい賞を頂くことができ喜びでいっぱいです。ご指導いただきました先生方はじめ、多くの方々のご支援に感謝し、一層精進して参ります。

評

クラシックバレエ1部(成人)
 舞踊評論家 山野博夫

第51回埼玉全国舞踊コンクールのクラシックバレエ1部(成人)は、安達悠子、安達悠子、篠原聖、田中祐子、有名舞踊家たちに批評家の山野を加えた5人が審査にあたり、その結果、ダイアナのヴァリエーションを踊った佐々木三夏門下の中村眞子が第1位になった。上位に名を連ねた人たちは、みんなしっかりと訓練を積み、安定したパフォーマンスを見せる者ばかり、衣裳の選択などもめりなく、僅差の順位決定となった。

評

クラシックバレエジュニアの部
 舞踊評論家 佐々木涼子

ジュニア部門は最も成長の盛んな時期で、人よって体力や体型、表現力にも大きな差があります。必ずしも平等な競技ではないと思ふこともありました。しかし深刺しとした生命の輝きを感じさせる年頃なので、それぞれに工夫を凝らした美しい衣装に身を包んだ演技を見るのはとても楽しかったです。

評

クラシックバレエ2部(児童)
 舞踊評論家 渡辺真弓

クラシックバレエ2部(児童)には、219名の応募があり、170名が決選に出場、猛暑の最中、今年も熱戦が繰り広げられました。

評

創作舞踊部門
 舞踊家 藤井利子

創作舞踊部門では、7月31日埼玉会館大ホールで10作品が競われ、8月5日同ホールに於いて決選8作品が審査された。予選で、こじんまりとした空間呼吸が見えなかった作品も、決選で照明が入る止むことが出来た。1位息もできない夜に魅了された有作品、2位やさしい人肉、3位涙で目が洗えるほど泣いた女、愛憎作品、白い鳴花村愛子作品、森淑那作品、白い鳴花村愛子作品、森淑那作品の6作品が入賞と決まった。

ダンスセッション2019

日時/2019年1月27日(日)
 1st 開演 13:00 2nd 開演 17:00
 会場/彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
 ★「フロアの目覚め」アレクサンドル・ミシューチン 振付 特別出演 浅田良和
 ニーナ・アナニアシヴィリ代表ジョージアバレエ学校の生徒と厳選オーディションに合格された出演者の方々の舞台です。
 ★「Three-in-one」平山泰子 振付 オーディションメンバーによる意欲作品
 新作初演 ★埼玉全国舞踊コンクール 創作部門 第一位作品
 チケット:2018年11月11日発売開始
 前売券5,000円 当日券5,500円 全自由席

評

創作舞踊部門
 舞踊家 藤井利子

創作舞踊部門では、7月31日埼玉会館大ホールで10作品が競われ、8月5日同ホールに於いて決選8作品が審査された。予選で、こじんまりとした空間呼吸が見えなかった作品も、決選で照明が入る止むことが出来た。1位息もできない夜に魅了された有作品、2位やさしい人肉、3位涙で目が洗えるほど泣いた女、愛憎作品、白い鳴花村愛子作品、森淑那作品の6作品が入賞と決まった。



第45回 ステージワン 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール 2018年9月1日・2日

国舞踊コンクールの創作舞踊部門が創造の活力を生む貴重な場として、実験的精神をもつ作品等、多くの方々の御参加で発展出来ますよう、祈りながら、創作部門のご報告をさせて頂きます。

創作舞踊部門予選は、7月31日埼玉会館大ホールで10作品が競われ、8月5日同ホールに於いて決選8作品が審査された。予選で、こじんまりとした空間呼吸が見えなかった作品も、決選で照明が入る止むことが出来た。1位息もできない夜に魅了された有作品、2位やさしい人肉、3位涙で目が洗えるほど泣いた女、愛憎作品、白い鳴花村愛子作品、森淑那作品の6作品が入賞と決まった。

私の個人的感想としては、(1)作品量の中の感覚が繊細に計算され、ダンサーの表現技術と相俟って、完成度の高い作品に仕上げられていた。(2)作品量 大きな群舞作品の流れの一部分を見ている感覚の作風で好感度が高かった。近年日本は災害が続出、ボランティアの温かい協働映像、ホッと胸が温もりが残りなかつたことが気になって、(3)作品量 美術衣裳のアイデアが素晴らしい、岡崎弓佳のたつている女の子のみずみずしい存在感が印象強く、作者自身のダンスを、力を抜いた無垢なダンス表現で見たいと思つた。奨励賞作品も、等身大の無難な素直さ、小さな命の視線、舞台空間視線のスケールの大きさ等が記憶に残った。

文化の多様化が進むこの時代、芸術分野でも、独自性、個性が薄れ画一的になって行くかも知れない、どう不安を感じることがあるので、多様化に共存しながらも、アートへの希求を發揮出来る場として、埼玉全

第45回ステージ1が9月1日(土)・2日(日)の国さいたま芸術劇場小ホールにて開催されました。悪候の予報で心配の中、両日合わせ500人近くの皆様にご来場いただきました。

プログラムのオープニングは2回のワークショップ受講後の即興タイムから始まり、続いて個性豊かで熱意ある15作品が並び、総勢57名の出演者が熱演した。今回は45回記念企画として若松美穂作品を披露。

「響きのデザイン」指導 小柳出加代子 出演 柳川真理子
 一月後に釜を登る指導 遠藤彩子 出演 萩江 瞳(1日) 全森みずほ(2日)
 ご指導にご尽力いただきましたお二人の先生と出演者に感謝申し上げます。

又、第51回全国舞踊コンクール成人の部1位、2位の1、2位の2作品披露としてお客様の温かい拍手の中笑顔のカーテンコールラストは足袋koro。体操でリフレッシュも、お客様と出演者が一緒に楽しい時間を過ごしました。

終演後の打ち上げにて山野博夫先生、藤井利子先生に総評をいただき、皆心して耳を傾けました。

その後、出演者と先生方の話し合いも盛り上がり有意義な時間を取る事ができました。多くの方々のご協力が無事終了の事が出来た。ありがとうございます。

ステージ1は残念ながら今年参加者が減少し運営が困難となって参りました。ここで1年充實期間を設け、積み重ねて来た実績を大切にしながらも、更に皆様に愛され充実した会になる様に担当者一同熟慮し再企画したいと思います。つきましては素晴らしい新たな第一歩となる様、多くの方々のご意見ご指導を担担者までお願い致します。

協会員催し物のご案内
 2018年10月・2019年4月

ジャパンダンスフェスティバル
 日本大震災から5周年を記念し、舞文化の波を
 ◎11/11(日) 15:00
 大島町開発総合センター2F 大ホール
 ◎090(4533)11666 青木 健

バレエ団ピッコロ第33回クリスマス公演
 ◎12/2(日) 16:00 《無料》
 練馬文化センター大ホール
 ◎06(3672)14766 バレエ団ピッコロ

MAYBALLET STUDIO CONCERT VOL.29
 ◎12/24(月) 15:30
 鴻巣市文化センタークレアこうのす大ホール
 ◎048(883)8407 原島マヤ

第21回島村睦美バレエ研究所発表会
 ◎2019/3/29(金) 18:00
 ◎048(641)6575 島村睦美

第21回カトレアバレエスタジオ発表会
 ◎2019/3/30(土)
 ◎090(267)08923 齋藤真弓

バレエスタジオレツソ 第23回発表会
 ◎2019/3/31(日) 15:30
 ◎080065439816 和泉加留留

伸びゆく彩の国さいたま子どもたちによる
第52回 バレエ・モダンダンスフェスティバル
 《会場》埼玉会館 大ホール 《日時》2019.3.3(日)

- ①新野正代舞踊研究所
- ②藤井・上原モダンバレエスタジオ
- ③山崎麻矢モダンバレエスタジオ
- ④マヤバレエスタジオ
- ⑤井上美代子バレエスタジオ
- ⑥中村友美・上田仁美 モダンバレエ
- ⑦吉田久木子モダンバレエスタジオ
- ⑧谷 乃梨絵モダンバレエスタジオ
- ⑨バレエ団ピッコロ付属研究所
- ⑩川名今朝美モダンバレエスタジオ
- ⑪Sachi バレエスタジオ
- ⑫705 Dance Lab
- ⑬すゞききよモダンバレエ教室
- ⑭バレエスタジオレツソ
- ⑮窪内絹子モダンバレエ研究所

◎編集後記
 想定外の天災に見舞われた昨今、自然の脅威にどのように対応すれば良いか迷うこの頃です。皆様にはお愛おしいようにと願うばかりです。

広報部 山本 教子
 庶原千珂子